

令和3年度事業報告

【総務・地域福祉課】

総務地域福祉課では、近年のライフスタイルの多様化、環境の変化、地域のつながりの希薄化などの社会情勢に対し、「誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり」を目指し、住民主体の理念に基づき、住民のニーズを聞きながら、住民やボランティア、各種団体、事業所等との連携を図って参りました。また、高齢者教室や障害者教室の委託運営や、フィットネスの運営など、地域住民の生きがいや健康づくりに対する事業も継続して行っております。

令和3年度は、三宅町地域福祉活動計画の2年目であり、社会福祉協議会としては4つの重点項目である①ボランティアセンターの充実②居場所づくり③相談機能の充実④災害対策に努めてまいりました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度も予定していた事業が中止や延期になる中、こんな時だからこそ人と人とのつながりが大切であるということを再認識し、事業を展開しました。

(1) ボランティアセンターの充実

① ボランティア団体登録件数

○ボランティア登録人数・・・255名（昨年より23名増加）

○ボランティア登録団体・・・28団体（昨年より4団体増加）

○三宅町ボランティア連絡協議会加入団体・・・23件（昨年より4団体増加）

② ボランティア保険加入状況・・・205名／19団体（昨年より12名減少／5団体増加）

③ ボランティア活動助成・・・2団体（昨年と±0）

④ 実施事業

○ボランティア講座（令和4年1月28日）・・・19団体33名より申込。

ボランティアについての講習会、活動団体の活動報告（3団体）、交流会を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止

⑤社協によるボランティアメニュー

- 畑ボランティア・・・4名登録（昨年と±0）
- あざさふれあい食堂・・・9月（協力28名+2団体）
3月（協力39名+2団体）

計67名、4団体

(2) 居場所づくり

①ふんわりサロンの実施・・・新型コロナウイルス感染拡大のため休止

②夏休み子供教室・・・新型コロナウイルス感染拡大のため、あざさふれあい食堂と協同し、子ども食堂として実施。

③三宅町特産品生産協力事業・・・生きがいや居場所づくりのため、三宅町特産品である里芋・金ゴマづくりへの協力。

- 登録者・・・4名
- 活動（3～10月）・・・10回延べ17名参加

④あざさふれあい食堂（8月と3月の2回）

令和3年8月31日（水）実施。新型コロナウイルスのため、小学生・幼稚園に案内を出し、カレーの無料配布を実施。

- 申込者数・・・91名（一般19名・学童55名・幼稚園17名）
- ボランティア数・・・24名
- 寄付数・・・4名+2団体

令和4年3月19日（土）実施。新型コロナウイルスのため、三宅町在住者に対してオムライスの無料配布を実施。

- 申込者数・・・123名
- ボランティア数・・・28名
- 寄付数・・・11名+2団体

⑤奈良県子どもの「心と学び」サポート事業（三宅町の名称「ここあ（COCO）A」）（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

生活困窮や家庭環境等により、暮らしにくさを抱えた児童に対する居場所づくりと学習支援、ネットワークづくり

- 参加児童・・・1名
- 実施回数・・・23回

⑥みやげフィットネス オアシスの運営

- 会員数・・・定期（月）及び年間会員数60名（町内会員33名／町外会員27名） ※令和4年3月末時点
- 1日の平均利用者数・・・45名（町内57%、町外43%） ※令和4年3月次集計

(3) 相談機能の充実

①生活福祉資金貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

低所得者、障害者又は高齢者に対し、貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長と在宅福祉及び社会参加の促進を図る事業

○2件（緊急小口資金1件・教育支援資金1件）

②生活福祉資金特例貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収入が減少した家庭を支援し、生活の立て直しのための安定した資金の貸付を行う事業

○76件（34,650,000円） ※昨年度162件（64,500,000円）

③奈良県フードレスキュー事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

喫緊の生活に困窮している相談者へ、生活していくための最低限の食糧支援を行い、安定した相談活動に繋げる事業

○4件（3世帯） ※昨年度7件（4世帯）

④日常生活自立支援事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

認知症や精神障害などにより、日常生活を営むのに支障のある者に対し、福祉サービス利用に関する相談や、適切なサービスの利用のための一連の援助を一体的に行う

○契約件数・・・4件（新規1件）

○解約（契約終了）件数・・・1件（施設入所のため）

○支援回数・・・38回

⑤総合相談事業（心配ごと相談）の実施・・・人権擁護委員及び行政相談委員による相談会の実施

○実施回数・・・11回

(4) 災害対策

①災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施・・・令和3年7月31日

○参加人数・・・75名（三宅町社協職員：9名、町役場職員：6名、福祉関係団体：8名、福祉事業所：5名、自治会：10名、自主防災会：8名、小地域ネットワーク活動団体：6名、他市町村社協職員12名、県社協職員：5名、奈良県職員2名、橿原青年会議所：3名、その他：1名）

- ② 檜原青年会議所との「災害時における協力体制に関する協定」の締結・・・令和3年10月13日
災害時の災害ボランティアセンター運営における人的支援・物的支援と日頃からの連携を確認。

※ その他の事業

① 広報・情報提供活動

- 社協だよりの発行・・・奇数月にみやげ広報に折込を行い年間6回の発行
- ホームページの運営・・・お知らせや事業案内、報告などを随時更新

② 善意銀行の運営

- 一般寄付・・・4件（121, 147円）

③ 受託事業

- 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

- ・ 教室数・・・9教室
- ・ 延べ参加人数・・・141名

- 障害者文化交流事業

- ・ 教室数・・・1教室
- ・ 参加人数・・・6名

- 生活支援コーディネート業務（生活支援コーディネーター）

- ・ 包括支援センターの行う「みんなの保健室」に同行：10件
- ・ 地域ケア会議に参加し、ケースや事例の積み重ね：17件
- ・ その他、老人クラブやボランティア関係の会議の参加等：20件

- 三宅町保健福祉施設「あざさ苑」受託事業

- コロナ関連事業受託（三宅町より受託）

- ・ 大学生・専門学生等無利子貸付事業（令和2年度前期分の学費の貸付）
令和2年に2件・900,000円貸付実施。内、1件の償還事務が開始。
- ・ 妊婦などへの生活支援サービス事業（買い物代行業業）・・・0件
- ・ 生活支援サービス事業（感染者及び濃厚接触者に対する買い物代行業業）・・・0件

④赤い羽根共同募金運動の実施（10月～12月）

街頭募金、職域募金、広域募金、法人募金、学校募金、募金箱設置依頼など

⑤日本赤十字社の活動支援

⑥福祉関係団体の活動支援

○小地域ネットワーク活動団体・・・5団体（伴堂・東屏風・但馬・上但馬・石見地区）

○関係団体事務局・・・4団体（町老人クラブ連合会、町ボランティア連絡協議会、町遺族会、町母子寡婦福祉会）

○磯城郡社会福祉協議会への参画・・・令和3年11月17日に磯城郡社会福祉協議会研修会を実施

テーマ「災害ボランティアセンターの理解を深める」

○磯城郡自立支援協議会への参画・・・郡域における行政・福祉事業所・当事者団体で構成される協議会への参画

○奈良県社会福祉大会への参加・・・奈良県社会福祉協議会会長表彰を2団体4名の方が受賞

⑦安全安心なまちづくりのための支援事業・・・三宅小学校へ新1年生への防犯ブザー34個を贈呈

⑧福祉出前講座、福祉教育に関する事業・・・式下中学校の1年生（104名）に対する車いす体験

⑨福祉機器貸出事業・・・車椅子の貸出（18回）、麻雀卓（24回）、鉄板（1回）、集会テント（1回）、その他（4回）

⑩福祉車両貸出事業・・・0回

⑪研修会参加・・・28回（県内社協連絡会議、災害研修、権利擁護研修、ボランティア研究集会、社協職員研修、安全運転管理者講習、奈良県小地域サミット、生活支援コーディネーター研修）